

### 第3節 計画の概要

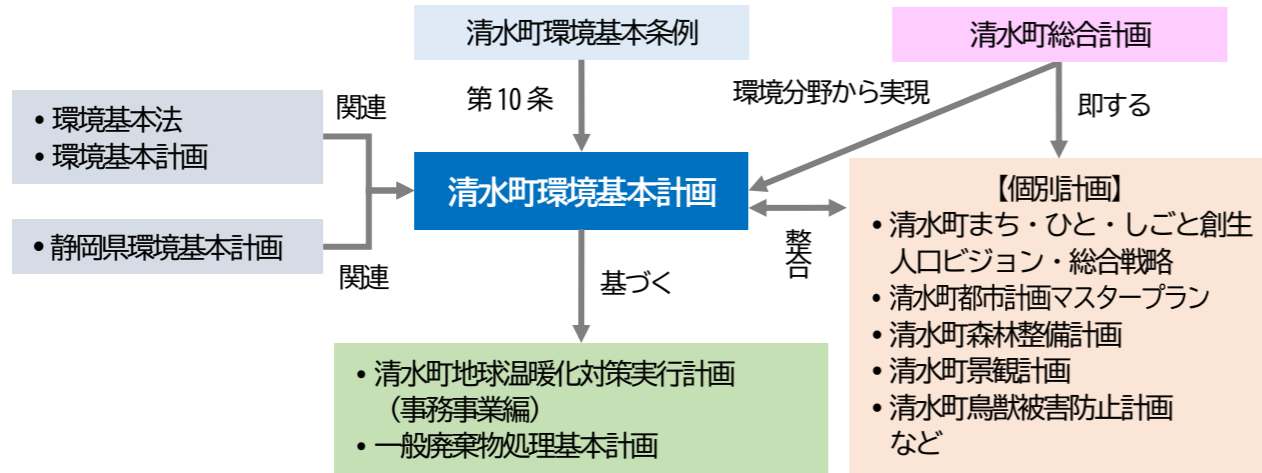
#### 3-1 計画の目的

本計画の目的は、「清水町環境基本条例」に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境像や環境施策の基本的方向などを示し、町・町民・事業者の取組を明らかにすることです。

#### 3-2 計画の位置づけ

本計画は、「清水町環境基本条例」の第10条に基づく計画であり、「清水町総合計画」に示された町の将来像を環境面から実現していくための計画と位置づけられます。

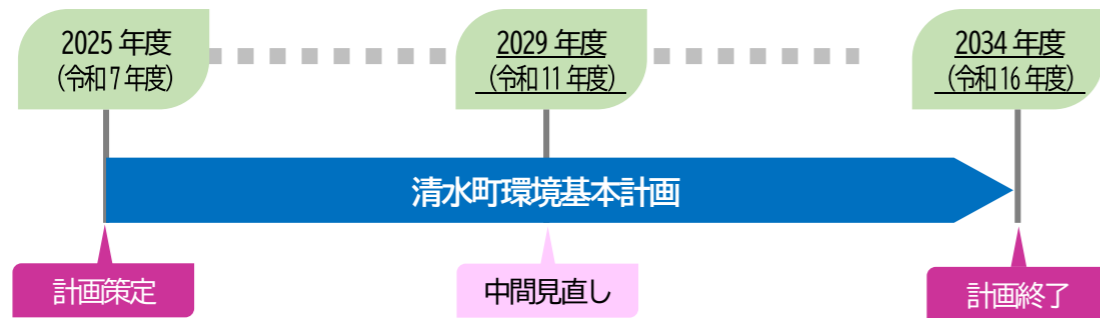
また、「清水町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」や「一般廃棄物処理基本計画」など、環境分野の個別計画の上位計画に位置づけるほか、他の個別計画とは施策の整合を図ります。



計画の位置づけ

#### 3-3 計画の期間

本計画の期間は、2025（令和7）年度から2034（令和16）年度までの10年間とします。また、社会情勢や環境の変化を踏まえ、計画期間の5年目に中間見直しを行います。



計画の期間

### 第3節 計画の概要

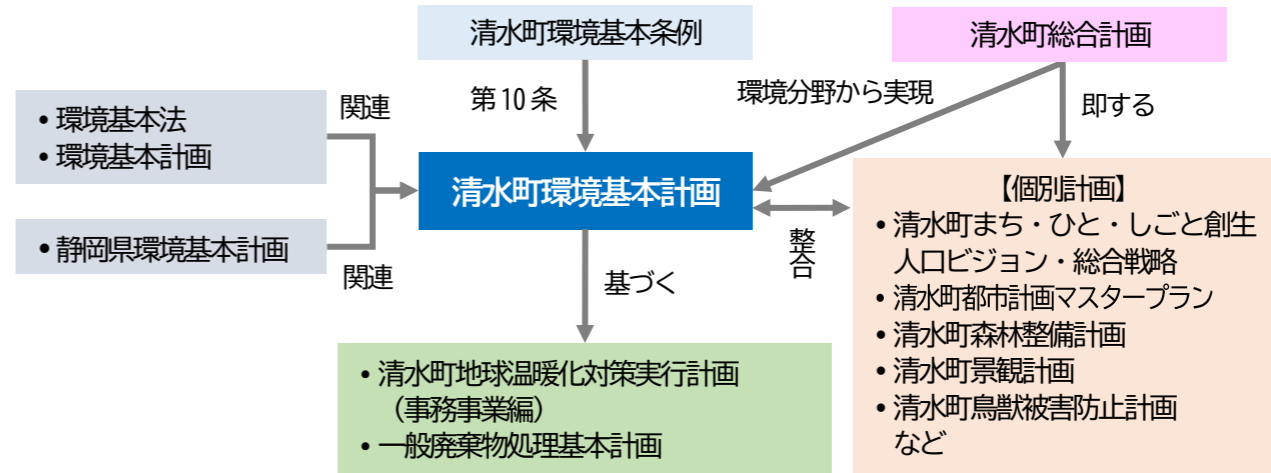
#### 3-1 計画の目的

本計画の目的は、「清水町環境基本条例」に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境像や環境施策の基本的方向などを示し、町・町民・事業者の取組を明らかにすることです。

#### 3-2 計画の位置づけ

本計画は、「清水町環境基本条例」の第10条に基づく計画であり、「清水町総合計画」に示された町の将来像を環境面から実現していくための計画と位置づけられます。

また、「清水町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」や「一般廃棄物処理基本計画」など、環境分野の個別計画の上位計画に位置づけるほか、他の個別計画とは施策の整合を図ります。



計画の位置づけ

#### 3-3 計画の期間

本計画の期間は、2025（令和7）年度から2035（令和17）年度までの11年間とします。また、社会情勢や環境の変化を踏まえ、計画期間の6年目に中間見直しを行います。



計画の期間

### 第3節 基本目標・数値目標

#### 基本目標1 自然と共生するまち

柿田川、狩野川、黄瀬川などの河川や湧水などの水資源を守るとともに、公園・緑地など都市の緑を増やしつつ、緑と緑をつなぎます。また、徳倉山や本城山などの森林、水田などを保全・活用するとともに、地域の生態系や生物多様性を確保します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2029年度)	目標 (2034年度)
柿田川の平均湧水量	121万m <sup>3</sup> /日	130万m <sup>3</sup> /日	130万m <sup>3</sup> /日
町民1人当たりの公園面積	2.9m <sup>2</sup>	3.0m <sup>2</sup> <sup>※1</sup>	3.0m <sup>2</sup> <sup>※1</sup>
柿田川公園などを利用している町民の割合	53.4%	50.0% <sup>※1</sup>	50.0% <sup>※1</sup>
柿田川公園来場者数	24万人/年	44.8万人/年	44.8万人/年
学校給食で取り入れた県内産地場産物の割合(食材数ベース)	28.2%	45%以上	45%以上

#### 基本目標2 安全安心に暮らせるまち

水質汚濁や大気汚染、騒音・振動、悪臭、有害化学物質など、人や事業活動から発生する公害の問題がない、町民が安全に暮らせる生活環境を維持します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2029年度)	目標 (2034年度)
下水道普及率(3月末現在)	79.0%	91.0%	93.5%
下水道整備率	60.7%	67.4%	70.0%
汚水処理人口普及率	85.0%	95.0%	98.0%
住まいの周辺環境を快適と感じる町民の割合	70.6%	75.0% <sup>※1</sup>	75.0% <sup>※1</sup>
公害苦情件数	11件/年	3件/年以下	3件/年以下

#### 基本目標3 資源の循環するまち

ごみの減量(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)などの3Rを推進することにより、資源の消費が抑制され、環境への負荷の少ない資源の循環するまちを目指します。また、発生するごみは適正処理を行うとともに、環境美化の推進と不法投棄を防止します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2029年度)	目標 (2034年度)
町民1人1日当たりのごみ排出量	700g/人・日	714g/人・日 <sup>※2</sup>	709g/人・日 <sup>※2</sup>
家庭系ごみ1人1日当たりの排出量	502g/人・日	523g/人・日	516g/人・日
事業系ごみ1日当たりの排出量	6.3t/日	6.1t/日 <sup>※2</sup>	6.1t/日 <sup>※2</sup>
資源化率	25.9%	22.9% <sup>※2</sup>	22.9% <sup>※2</sup>
フードドライブ実績	174kg/年	200kg/年	200kg/年
生ごみ処理機等設置費補助	28件/年	30件/年	30件/年

※1:「第5次清水町総合計画(後期基本計画)」の策定後に目標値を見直し予定。  
 ※2:「清水町一般廃棄物処理基本計画」の目標値を掲載している。

### 第3節 基本目標・数値目標

#### 基本目標1 自然と共生するまち

柿田川、狩野川、黄瀬川などの河川や湧水などの水資源を守るとともに、公園・緑地など都市の緑を増やしつつ、緑と緑をつなぎます。また、徳倉山や本城山などの森林、水田などを保全・活用するとともに、地域の生態系や生物多様性を確保します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2030年度)	目標 (2035年度)
柿田川の平均湧水量	121万m <sup>3</sup> /日	130万m <sup>3</sup> /日	130万m <sup>3</sup> /日
町民1人当たりの公園面積	2.9m <sup>2</sup>	3.0m <sup>2</sup> <sup>※1</sup>	3.0m <sup>2</sup> <sup>※1</sup>
柿田川公園などを利用している町民の割合	53.4%	55.0% <sup>※1</sup>	55.0% <sup>※1</sup>
柿田川公園来場者数	24万人/年	44.8万人/年	44.8万人/年
学校給食で取り入れた県内産地場産物の割合(金額ベース)	46.9% (2025年度)	現状維持	現状維持

#### 基本目標2 安全安心に暮らせるまち

水質汚濁や大気汚染、騒音・振動、悪臭、有害化学物質など、人や事業活動から発生する公害の問題がない、町民が安全に暮らせる生活環境を維持します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2030年度)	目標 (2035年度)
下水道普及率(3月末現在)	79.0%	90.0% <sup>※1</sup>	90.0% <sup>※1</sup>
下水道整備率	60.7%	70.0% <sup>※1</sup>	70.0% <sup>※1</sup>
汚水処理人口普及率	85.0%	95.6%	98.0%
住まいの周辺環境を快適と感じる町民の割合	70.6%	75.0% <sup>※1</sup>	75.0% <sup>※1</sup>
公害苦情件数	11件/年	3件/年以下	3件/年以下

#### 基本目標3 資源の循環するまち

ごみの減量(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)などの3Rを推進することにより、資源の消費が抑制され、環境への負荷の少ない資源の循環するまちを目指します。また、発生するごみは適正処理を行うとともに、環境美化の推進と不法投棄を防止します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2030年度)	目標 (2035年度)
町民1人1日当たりのごみ排出量	700g/人・日	687g/人・日 <sup>※1</sup>	687g/人・日 <sup>※1</sup>
家庭系ごみ1人1日当たりの排出量	502g/人・日	474g/人・日 <sup>※2</sup>	474g/人・日 <sup>※2</sup>
事業系ごみ1日当たりの排出量	6.3t/日	6.7t/日 <sup>※2</sup>	6.6t/日 <sup>※2</sup>
リサイクル率	25.9%	27.0% <sup>※1</sup>	27.0% <sup>※1</sup>
フードドライブ実績	174kg/年	200kg/年	200kg/年
生ごみ処理機等設置費補助	28件/年	30件/年	30件/年

※1:「第5次清水町総合計画(後期基本計画)」の目標値を掲載している。  
 ※2:「清水町一般廃棄物処理基本計画」の目標値を掲載している。

### 基本目標 4 脱炭素を目指すまち

再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進などの施策を計画的に進めるとともに、町民一人ひとりの行動変容を促し、2050（令和32）年に向けて町全体で脱炭素なまちを目指します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2029年度)	目標 (2034年度)
町有施設の温室効果ガス排出量	1,316.9t-CO <sub>2</sub>	1,160.2t-CO <sub>2</sub>	1,055.8t-CO <sub>2</sub>
移動に不便を感じる町民の割合	42.6%	35.0%※1	35.0%※1
町内循環バス延べ利用者数	40,627人/年	46,000人/年以上	46,000人/年以上
自動車以外の交通手段分担率	-%	現状以上※3	現状以上※3
自家用車を利用しなくても困らない (総合計画評価指標：住民アンケート)	1.9点/5点	現状以上※3	現状以上※3

### 基本目標 5 みんなで環境を守るまち

こどもから大人まで、家庭や地域、学校、職場などで多様な環境教育・環境学習を推進するとともに、環境情報の提供、環境保全活動の活性化を図ります。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2029年度)	目標 (2034年度)
環境教室や環境保全活動に参加したことがある町民の割合	2.6%	4.0%※1	4.0%※1
エコスクールの延べ参加者数	42人/年	60人/年	60人/年
小学生環境講座の参加者数	279人/年	250人/年	250人/年

### 重点プロジェクト 柿田川環境保全プロジェクト

本町の環境のシンボルでもある柿田川・柿田川公園において、自然共生社会・脱炭素社会・循環型社会に向けた取組を一体的に行い、ウェルビーイング（高い生活の質）を感じる持続可能な柿田川・柿田川公園を目指します。これにより、町全体が住みやすく快適と感じられ、多くの人が本町を訪れるまちづくりにつなげます。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2029年度)	目標 (2034年度)
住まいの周辺環境を快適と感じる町民の割合	70.6%	75.0%	75.0%
観光交流客数	30.0万人/年	52.2万人/年	52.2万人/年
柿田川の環境保全活動数	17回/年	20回/年	20回/年

※1：「第5次清水町総合計画（後期基本計画）」の策定後に目標値を見直し予定。  
 ※2：「清水町一般廃棄物処理基本計画」の目標値を掲載している。  
 ※3：「清水町立地適正化計画」策定時の目標値を使用している。

注)ここに掲載している数値目標には、総合計画やその他の個別計画の数値目標に基づくものがあります。特に「第5次清水町総合計画（後期基本計画）」(2025（令和7）年度策定)の数値目標については、総合計画の策定後、整合を図る観点から本計画の数値目標について見直しを予定します。

### 基本目標 4 脱炭素を目指すまち

再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進などの施策を計画的に進めるとともに、町民一人ひとりの行動変容を促し、2050（令和32）年に向けて町全体で脱炭素なまちを目指します。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2030年度)	目標 (2035年度)
町有施設の温室効果ガス排出量	1,316.9t-CO <sub>2</sub>	1,160.2t-CO <sub>2</sub>	1,055.8t-CO <sub>2</sub>
移動に不便を感じる町民の割合	42.6%	35.0%※1	35.0%※1
町内循環バス延べ利用者数	40,627人/年	46,000人/年以上	46,000人/年以上
自動車以外の交通手段分担率	-%	現状以上※3	現状以上※3
自家用車を利用しなくても困らない (総合計画評価指標：住民アンケート)	1.9点/5点	現状以上※3	現状以上※3

### 基本目標 5 みんなで環境を守るまち

こどもから大人まで、家庭や地域、学校、職場などで多様な環境教育・環境学習を推進するとともに、環境情報の提供、環境保全活動の活性化を図ります。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2030年度)	目標 (2035年度)
環境教室や環境保全活動に参加したことがある町民の割合	2.6%	4.0%※1	4.0%※1
エコスクールの延べ参加者数	42人/年	60人/年	60人/年
小学生環境講座の参加者数	279人/年	250人/年	250人/年
SDGs宣言事業者数	二	21社	21社

### 重点プロジェクト 柿田川環境保全プロジェクト

本町の環境のシンボルでもある柿田川・柿田川公園において、自然共生社会・脱炭素社会・循環型社会に向けた取組を一体的に行い、ウェルビーイング（高い生活の質）を感じる持続可能な柿田川・柿田川公園を目指します。これにより、町全体が住みやすく快適と感じられ、多くの人が本町を訪れるまちづくりにつなげます。

環境指標	現状値 (2023年度)	中間目標 (2030年度)	目標 (2035年度)
住まいの周辺環境を快適と感じる町民の割合	70.6%	75.0%※1	75.0%※1
観光交流客数	30.0万人/年	52.2万人/年	52.2万人/年
柿田川の環境保全活動数	17回/年	20回/年	20回/年

※1：「第5次清水町総合計画（後期基本計画）」の目標値を掲載している。  
 ※2：「清水町一般廃棄物処理基本計画」の目標値を掲載している。  
 ※3：「清水町立地適正化計画」策定時の目標値を使用している。

注)目標(2035年度)の数値については、中間時(2030年度)に、見直しを行います。